

松商学園高等学校 学校評価 報告書

2022年度

評価方法

学校評価アンケート結果（保護者・生徒・教職員）及び授業評価アンケート結果

学校評価の設問

1	教育目標実施	8	教員相談	15	家庭内会話
2	学科コース別教育	9	大学受験対応	16	担任指導
3	学習習慣指導	10	説明会・懇談	17	学年運営
4	授業工夫	11	課外活動	18	教職員の行動・態度
5	授業進み方	12	学校行事	19	保健・安全
6	生活指導	13	家庭連絡	20	入学推奨度
7	問題対応	14	ホームページ		

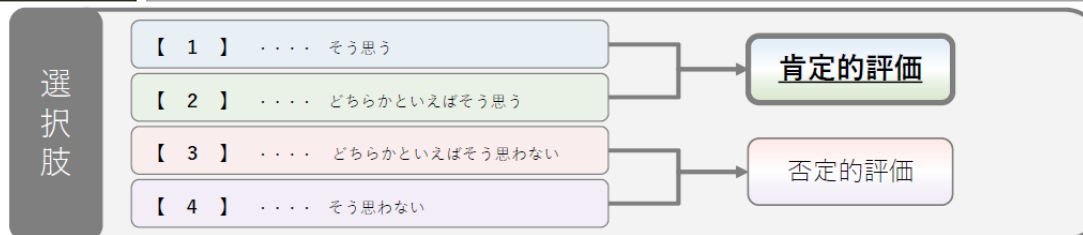
【選択肢】

- ・とても当てはまる
- ・当てはまる
- ・あまり当てはまらない
- ・当てはまらない
- ・わからない

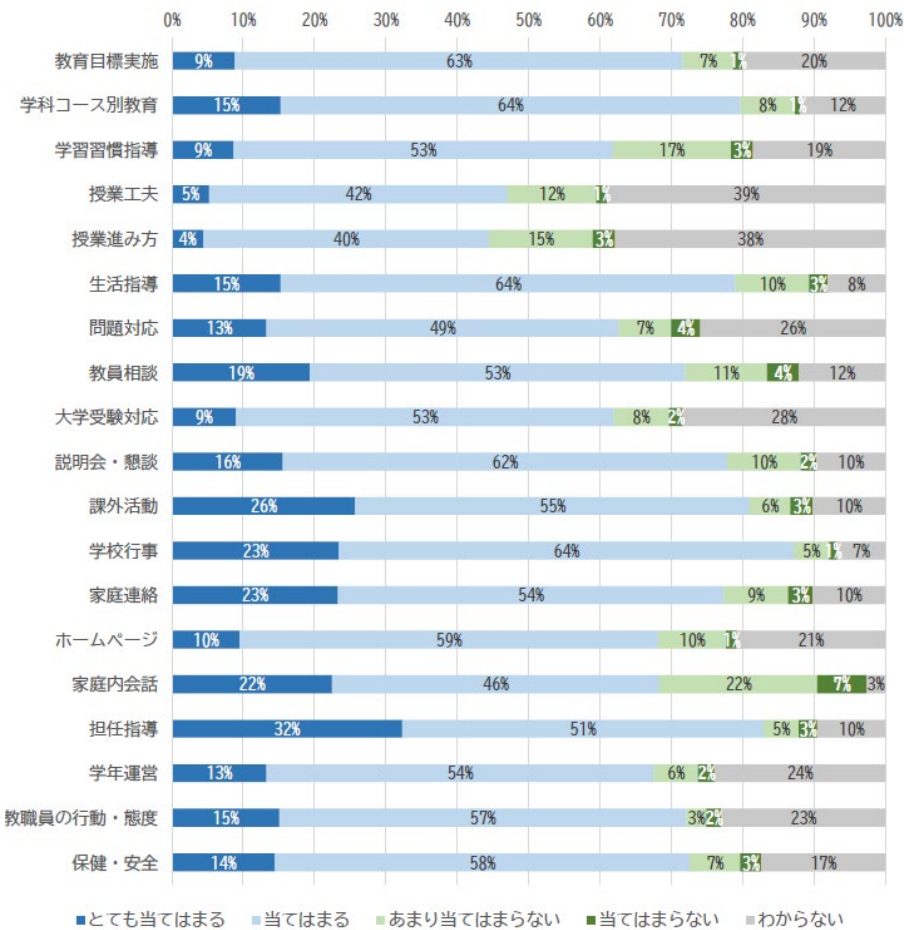
授業評価の設問

生徒自身 についての質問	①【授業マナー】 あなたは、この授業でマナー（私語・いねむりをしない）を守っていますか？ ②【授業参加】 あなたは、自分なりの目標を持って、この授業に積極的に参加していますか？ ③【家庭学習】 あなたは、この授業に必要な家庭学習（予習・復習等）をしていますか？
授業についての質問 （総合評価）	④【話し方】 先生の話し方や説明の仕方はわかりやすいですか？ ⑤【板書等】 先生の黒板・ICTの活用方法（体育・芸術等は実技指導）は良いと思いますか？ ⑥【要点強調】 先生の授業は、重要なところが強調されていますか？ ⑦【授業難度】 授業の学習内容のレベルは、ちょうど良いと思いますか？ ⑧【授業速度】 授業を進めるスピードは、ちょうど良いと思いますか？ ⑨【理解確認】 先生の授業は、生徒の理解を確かめながら進められていますか？ ⑩【質問発言】 先生は、生徒の質問や発言を促し、ていねいに対応していますか？ ⑪【授業展開】 授業の進め方（組み立て）は、興味関心を引き、学習意欲をわかせると思いますか？ ⑫【教員熱意】 先生の授業に熱意を感じますか？ ⑬【公平対応】 私語などに対して適切な対応が取られ、公平で思いやりのある授業ですか？
授業についての 総合的な質問 （満足度）	⑭【満足度】 この授業は、あなたにとって良い授業だと思いますか？
進路についての質問 （進路アンケート）	あなたは、本校の授業で自分の目指す進学・進路を実現できると思いますか？

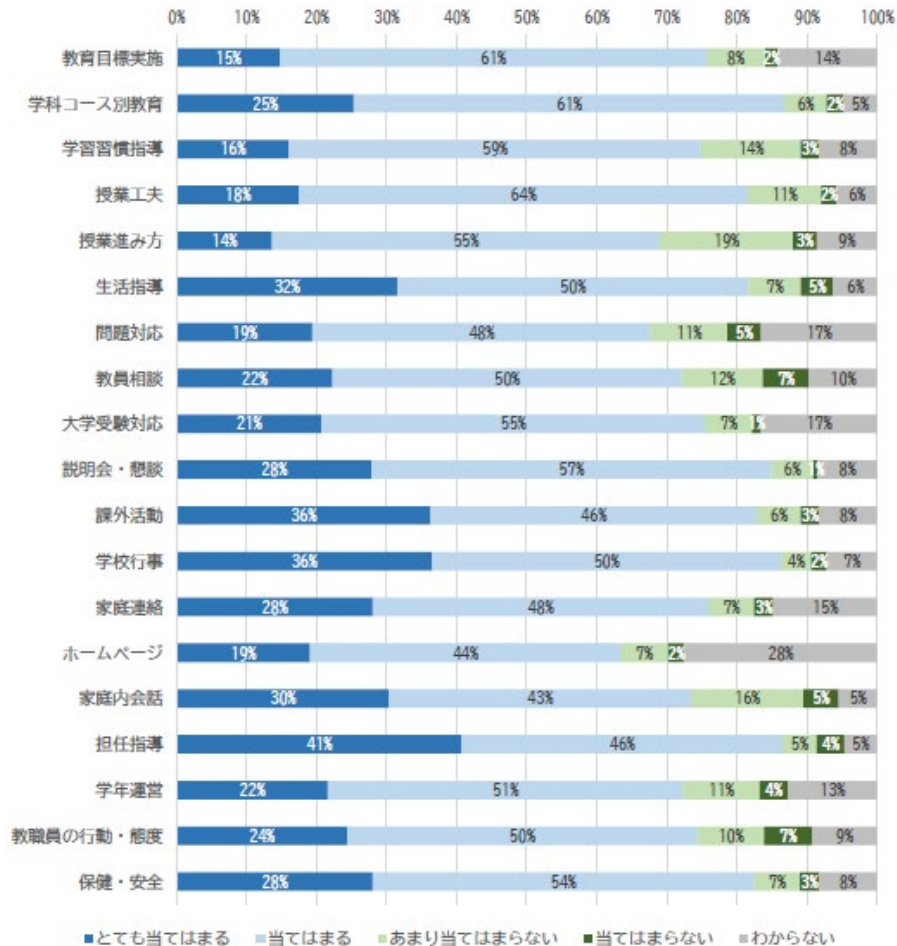
総合評価



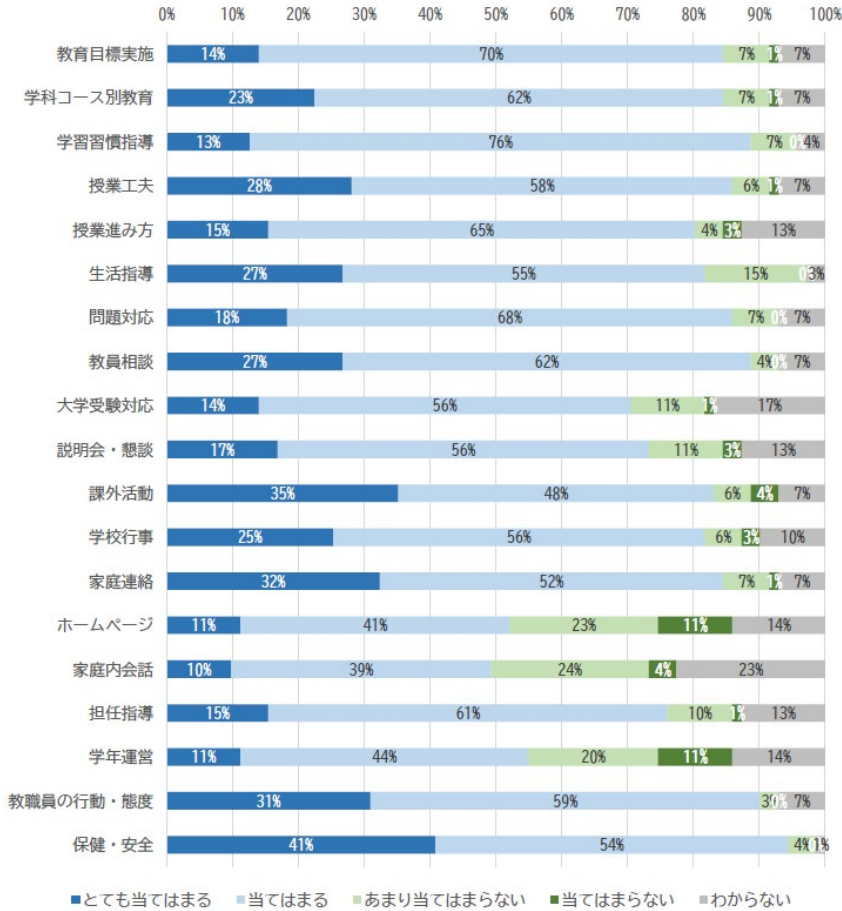
保護者の質問別回答内訳



生徒の質問別回答内訳



教員の質問別回答内訳



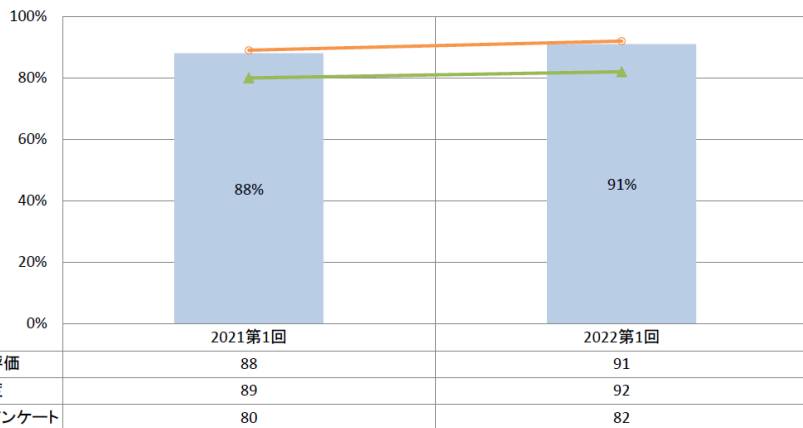
回答を重みづけした3者間の比較

選択肢の回答割合(%)に以下の数値を掛け合わせており、100から-100の範囲で表される。

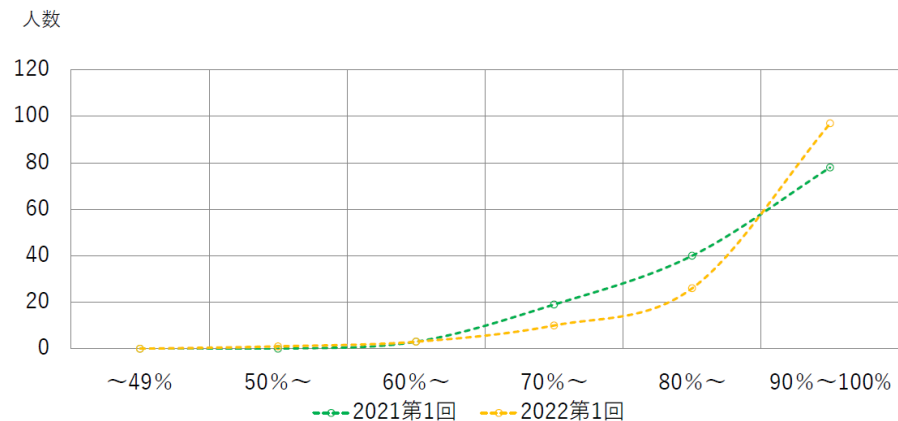
- とても当てはまる . . . 1
- 当てはまる . . . 0.5
- あまり当てはまらない . . . -0.5
- 当てはまらない . . . -1
- わからない . . . 0

	保護者	生徒	教員
教育目標実施	35.4	39.3	44.4
学科コース別教育	43.0	50.6	48.6
学習習慣指導	23.9	35.7	47.2
授業工夫	18.4	42.1	52.8
授業進み方	14.0	28.4	43.0
生活指導	39.4	48.3	46.5
問題対応	30.2	33.3	48.6
教員相談	35.5	34.9	55.6
大学受験対応	29.7	43.5	35.2
説明会・懇談	39.4	52.7	36.6
課外活動	47.4	53.8	52.1
学校行事	51.7	57.0	47.9
家庭連絡	42.4	46.0	53.5
ホームページ	32.6	35.6	9.2
家庭内会話	27.5	38.8	13.4
担任指導	52.6	57.2	39.4
学年運営	35.0	37.5	12.0
教職員の行動・態度	40.1	37.7	59.2
保健・安全	37.1	49.3	65.5

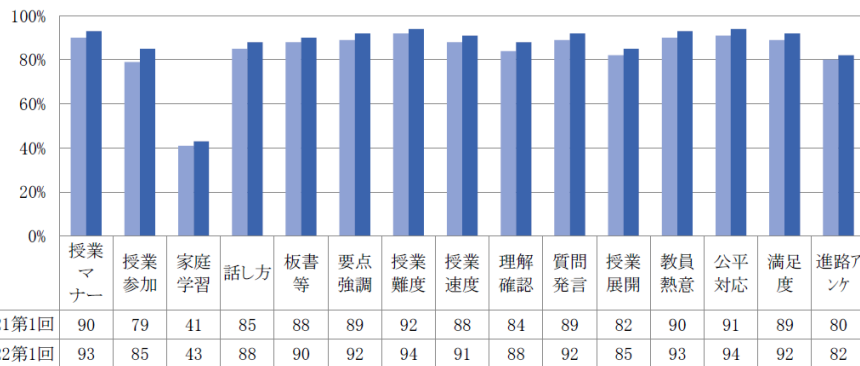
総合評価・満足度・進路アンケートの肯定的回答の割合



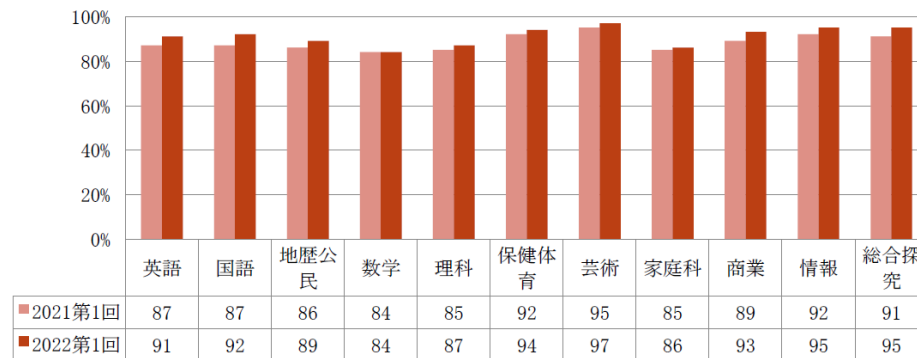
総合評価の肯定的割合（教員分布）



総合評価における質問別肯定的評価の割合



総合評価における教科別肯定的評価の割合



保護者からの回答では、「教育目標実施」、「学科コース別教育」、「課外活動」、「学校行事」、「担任指導」において概ね高い評価を維持・発展できおり、「担任指導」については最も評価が高い結果となった。一方、「授業工夫」や「授業進み方」、「大学受験対応」など、授業内の出来事については「わからない」と回答する割合が多く、「学習習慣指導」の評価に改善の余地があることから、これまで以上に保護者に向けた教育内容の発信、生徒による評価の開示を行う必要があると考えられる。

生徒からの回答では、全質問における回答割合の平均では、約77%が肯定的な評価となっており、生徒の満足度は一定程度保たれていると言える。また、「学科コース別教育」、「授業工夫」、「生活指導」、「説明会・懇談」、「課外活動」、「学校行事」、「担任指導」、「保健・安全」などで概ね高い評価を維持・発展できおり、「担任指導」については保護者同様に最も評価が高い結果となった。一方、「ホームページ」、「授業進み方」、「問題対応」などで肯定的な意見がやや低くなっており、個別最適な教育の展開、教育活動の発信を次年度の改善として取り組んでいく必要がある。さらに回答率を上げるために実施方法や周知方法についても工夫・改善したい。

教員の自己評価回答では、全質問における回答割合の平均では、約78%が肯定的な自己評価となっており、一定程度の高い自己評価が保たれているが、昨年比での変化が大きい質問項目が多い結果となった。「学習習慣指導」、「教員相談」、「教職員の行動・態度」、「保健・安全」などで高い自己評価を維持・発展できおり、「保健・安全」については最も自己評価が高い結果となった。特に「教育目標実施」、「学習習慣指導」、「問題対応」、「教育相談」では昨年比で大きく向上している。一方、「ホームページ」、「家庭内会話」では肯定的な意見が低くなっており、校外に対しての発信が十分でないとの認識があるようである。これは生徒や保護者の回答とも通じるものがあるため、優先的に改善を図る必要があると考える。

これら3者の回答を比較すると、「授業の進み方」「問題対応」「教育相談」「教職員の行動・態度」「学習習慣指導」などで保護者・生徒の評価と教員の自己評価に大きな差がみられた。一方、「担任指導」では教員自身の認識よりも保護者・生徒が高く評価している結果となった。また、右グラフのとおり青い丸で囲まれた項目は、教員の自己評価より生徒の評価が高く、生徒が回答した平均よりも高い評価となっており、本校の強みと言える。一方、緑の丸で囲まれた「授業の進み方」は教員の自己評価より生徒の評価が低く、生徒が回答した平均よりも低い結果となった。授業評価結果も踏まえながら研修等による改善を計画的に図る必要があると考える。今後は更に生徒・保護者からのニーズを適切に把握することが必要だと認識しており、その結果について組織的に教育の質保証を図っていくことを本校のIR活動に位置付けていきたい。

授業評価アンケートからは、全体として、昨年度と比較してほぼすべての項目で肯定的な回答割合が増加しており、生徒自身の授業への取り組み姿勢、授業に対する満足度を高めることができた。特に授業の総合評価における肯定的な評価では、全学年、全コースで昨年より上昇し、概ね90%以上の評価を得た。

一方、家庭学習に取り組む生徒が少なく、教科によるばらつきも見られた。また、理数教科はそれ以外の教科と比べてやや評価が低く、入学当初からの苦手意識が影響している可能性を示唆している。社会の要請でもある科学技術人材の育成に伝えるためにも、理数に興味を持てるマインドセットを授業内外を通じて実施していく考えである。

今後は個別最適な学習を実現するためにも、教員によるフィードバックに重きを置きながら、生徒が満足し、学習成果を最大限発揮できる授業を組織的に構築することを目標としたい。

【学校関係者及び外部の評価委員からの意見抜粋】

- ・学校評価アンケート結果については概ね評価できる。回答対象である保護者、生徒、教職員の3者間のアンバランスに着目して、そのギャップを埋めることが重要であり、今後の教育改善に更に期待したい。
- ・コロナ禍がアンケート結果にどう影響しているか、今後も継続して分析していただきたい。
(回答) 本アンケートは2021年度から導入して2年目となり、コロナ禍でスタートしているため、比較は難しい。しかし、現状の回答でコロナの影響を受けている部分はあるため、今後アフターコロナでの大人数による行事等ができるようになった際はその比較を行う。
- ・WEBアンケートでは、より回答率が向上するように、設問の工夫などを継続的に検討してはどうか。加えて、保護者は授業内容について理解が難しいため、生徒の意見がより重要な指標となる点に注意していくとよいのではないか。
(回答) アンケート内容を大きく変更したため、比較できない項目がある。回答率の改善、これまでとの比較も含めて設問については検討を継続する。保護者に対してより学校の取り組みがわかるよう、ネットやSNSを通じた情報公開を積極的に行っていく。
- ・道路交通法などの改正を踏まえて、先回りした生徒指導が求められる。
- ・理系、文系のカテゴリが時代と合わなくなっており、従来の垣根にとらわれない指導が必要である。加えて全国と競争できるような学校を目指して、取り組みをしてほしい。子供の悩み、ハラスメント対策などなどにより、教員の業務はより繊細な対応が必要となっている。教員の働き方改革に一層注力し、帰宅時間を早める取り組みに期待したい。
- ・コロナ禍も落ち着いてきたため、学校法人内の連携強化を強め、今後も継続して地元で学びたい生徒の育成も重要ではないか。高大が連携した探究の取り組みなども検討していただきたい。
- ・卒業生のキャリアサポートなどは公立学校ではできないことであり、大変評価できる。また、自転車ヘルメット着用やジェンダーレスの制服などに積極的に取り組んでいることも評価できる。ICT活用スキルも大事だが、全校生徒が集まる機会の創出、直接会うからできることも大切にできなければこれからの社会を作る人材は育成できない。萎縮せず、試行錯誤して対面での取り組みを推進してほしい。今後も他校の見本となるような取り組みに期待する。
- ・自転車のヘルメット着用普及の協力をぜひお願いしたい。不審者の声かけ事案なども多発しており、生徒の防犯意識の向上及び警察への通報を徹底してほしい。